



かるようになるはずです。

二つ目は「自分がされて嫌なことは、他の人に絶対にしない」ということです。学校は、「人と人とのつながり」「友達の大切さ」を学ぶ場所です。校長先生は、桜川小学校を「桜っ子の皆さんも、先生方も、地域の方々も、笑顔がいっぱいの学校」にしていきたいと思っています。そのためにも、先ほど言った「自分がされて嫌なことは、他の人に絶対にしない」という約束を守ってください。今年も言います。「いじめは、絶対に許しません。」それは、他の人の人権を、他の人の笑顔を、奪う行為だからです。逆に、まわりの人を笑顔にできるような、そんなやさしい桜っ子でいてほしいと強く願っています。

最後に三つ目、「交通事故や事件にあわない」ということです。一人一人が、交通ルールや、生活していくうえでの、いろいろな「きまり」「ルール」をしっかり守っていれば、必ずできるはずです。学校生活にも、いろいろなルールがありますね。それをしっかりと守ることで。

「相手を見ながら話を聴く」「自分がされて嫌なことは他の人に絶対にしない」「交通事故や事件に絶対にあわない」

この3つの約束をしっかり守り、新しい学年、新しい友達、新しい先生、新しい教室、とともに、「やさしさと笑顔があふれる」素晴らしい桜川小学校を、みんなで創り上げていきましょう。

最後に、「学校でのマスク」について、お話しします。埼玉県教育委員会から指示があり、今年の4月から、学校ではマスクをつけることを求めない、ということが基本になりました。つまり、マスクをつけるのも、はずすのも、「個人の自由」ということです。今、校長先生は、マスクを外して話しています。それは、みなさんとの距離がきちんと確保できているからです。今日の始業式では、大勢がこの体育館に集まっていますから、皆さんはこれまで通りマスクをつけている人がほとんどです。

始業式が終わり、教室に戻ってからは、マスクを外したい人は外して構いません。そして、マスクをするのもしないのも、自由ですので、他の人に「どうしてマスクつけてるの」とか「外しなよ」とか「マスクをしなよ」ということはお互いに言わないようにしましょう。

それでは、令和5年度、みんなで「笑顔いっぱいの学校」を創っていきましょう。

令和5年4月10日 春日部市立桜川小学校長 小野 誠